

(別添2)

## 介護支援専門員実務従事者基礎研修実施要綱

### 1. 目的

介護支援専門員として一定の実務を経験した後に、実務従事者として必要な技術・技能の研鑽を図ることで、介護支援専門員の実務能力の向上を図ることを目的とする。

### 2. 対象者

現に介護支援専門員としての実務に携わっている者で実務就業後1年未満の者とする。

### 3. 実施方法等

#### (1) 実施に当たっての基本的な考え方

介護支援専門員は、介護支援専門員実務研修修了後に介護支援専門員業務に従事することとなるが、ケアマネジメントという業務内容を勘案し、ケアマネジメントプロセスやケアプラン作成等の技術取得等について、就業後一定の期間内に本研修を受講することにより、効果的にその技能の定着を図ることとする。なお、本研修は、実務研修から連続する一連の研修体系の中に位置づけられるものであり、現に介護支援専門員としての実務に携わっている者で実務就業後1年未満の者全員が受講すること。

#### (2) 研修内容

介護支援専門員実務従事者基礎研修について、具体的な研修の実施の考え方、各課程ごとの目的、内容等については以下のとおりであり、33時間を目安として実施するものとする。

研修課目	目的	内容	時間数
ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理	机上の実務研修内容を就業後の実践に照らして確認することにより重要な倫理を会得させる。	・ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員が基礎的に備えるべき、利用者主体、自立支援、公正中立、権利擁護、守秘義務、利用者ニーズの代弁等の倫理がどのように実践されているかを踏まえて徹底して講義。	講義3時間
ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方	ケアマネジメントの各プロセスの担う役割、目的を再認識するとともに重要性を理解させる。また、各自の実践を省みることにより問題点・課題を認識させる。	・アセスメント、プランニング、ケアカンファレンス・サービス調整、モニタリングの持つ意味と重要性について実際の事例を使って講義。	講義7時間

ケアマネジメント 点検演習	自らのアセスメント の手法や策定したケ アプランについて点 検し、問題点・課題 を明確にして改善方 策を見いだす。	・これまでの講義を踏まえ、小グループ 制により、各自が担当している事例をも ちより、アセスメント、ケアプラン、介 護支援経過を報告させ、どのようなプロ セスを経て計画に位置付けたサービスが 必要と考えたかを発表、ディスカッショ ンする演習。	演習 1 4 時 間
ケアマネジメント 演習講評	演習の結果を踏まえ 今後の改善点を考察 させる。	・演習の結果、明らかになったケアマネ ジメントのプロセスの各項目ごとの問題 点と改善方策を解説する講義。	講義 6 時間
研修を振り返って の意見交換、ネッ トワーク作り	ケアマネジメントの 原則に則った実践を 行うための決意を醸 成する。	・就業以降の苦勞や反省、ケアマネジメ ントのあり方などについて小グループ制 により意見交換を行う。困ったり悩んだ りした際の相談・助言や情報交換を行う ことができる仲間作りを促進させる。	演習 3 時間

#### 4 . 実施上の留意点等

当該研修の研修受講地については、原則として当該年度現在の勤務地の都道府県とする。ただし、やむを得ない事情が認められるときは、受講者が希望する研修受講地の都道府県と連携の上、その便宜を図るものとする。

なお、この取扱いは一つの研修を異なる都道府県に分割して行い得るものではない。